

年 組 名前:

多業種対話 学び深める



多業種がSDGsについて気軽に語り合う「やまなしSDGsカフェ」＝中央市役所

中央「SDGsカフェ」2年半で30回超

中央市役所を会場に、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）達成に向け市民が意見を交わす「やまなしSDGsカフェ」がスタートから2年半で30回以上の回数を重ねている。「SDGs」を入り口に、市内外の多業種の人がつどい、環境やウェルビーイング（幸福、教育など幅広いテーマで対話して学びを深める交流の場）となっている。

毎月第3木曜日の午後6時、市役所の一角に企業経営者や会社員、学生らが集まる。毎回、1、2人が登壇者としてSDGsに関する活動や、今感じていることを発表。グループに分かれて語り合う。年に数回、著名な大学教授らを講師に招く特別講座もある。カフェはSDGsに関心を持つ



桑原久美子
井村 賢紳

人が気軽に語り合う場として、市や企業、NPO法人、大学コンソーシアムややまなしなどが連携して2021年4月からスタート。運営委員会によると、当初はSDGsという言葉が広がり始めた頃で、取り組みのヒントを学び合う場としての役割が大きかったが、最近の論議は「ウェルビーイングとは何か」といった、生き方や働き方を問うものなど内容も多様化している。「それぞれのSDGsへの理解が深まり、個人の学びを深め、スキルアップする場にもなっている」（担当）。

会社員のかたわらインスタグラムなどで発信する市川三郷町の20代女性は、カフェの常連。「仲間との対話を通して自分の考えを整理でき、相手の意見から気付くことも多い。話すことに苦手意識があったが、話す力を磨く場になっている」と話す。カフェ運営委員として携わるITサービスのアドバンステクノロジー（甲府市）の石渡光悦事業部長は「カフェでの交流から仕事のヒントが得られることもある」と言う。

カフェ運営委員の印刷業、アドヴォネクスト（中央市）の井上雅博社長は「住みやすく持続可能な山梨を目指し、語り合える場にした」と話している。

(2024年2月2日付 山梨日日新聞 18面)

問1 「やまなしSDGsカフェ」は、なにをテーマに学びを深める交流の場になっていますか。

.....

問2 「やまなしSDGsカフェ」には、どのような人が参加していますか。

.....

問3 カフェ常連の20代女性は、参加することでの良さを、どのように話していますか。

.....

問4 あなたは、このカフェの、どのようなところが良いと思いますか。

.....